

# 忌部っ子だより

第21号  
令和8年2月18日  
発行者  
松江市立忌部小学校  
校長：井上孝弘



題名あてクイズ

## 残り1か月

3学期も残り1か月となりました。2月上旬の大雪により、2月9・10日の2日間を臨時休業しました。保護者及び地域の皆様のご協力により、無事再開することができ、こどもたちは1年のまとめをし、しっかりと「自信」を付けるという気持ちで各学年、学習等に意欲的に取り組んでいる様子が見られます。また、1月28日（水）には、2月27日（金）に予定されている6年生を送る会に向けた代表委員会が行われました。「6年生の楽しい思い出になるような送る会にしよう」をテーマに、5年生を中心に関校で会の準備を進めているところです。6年生にとっても、3月18日（水）の卒業式まで、残り1か月を切っています。在校生も卒業生も1日1日をより「笑顔」で大切に過ごしてほしいと願っています。

## 委員会活動

全校のみんながよりよい1日のスタートができるよう、環境委員会のこどもたちが毎朝昇降口でいさつ運動に取り組んでいますが、この1年、様々な委員会が、全校のみんながよりよい学校生活を送れるように、たくさんの活動をしてくれました。例えば、図書委員会の図書の貸し出しや放送委員会の昼の放送、健康委員会の給食コンテナ当番などです。また、常時的な活動とは別にイベント的な活動として、2学期には、環境委員会が「野菜bingo」を、健康委員会が「健康クイズ」を、3学期になって、放送委員会が「早口言葉スタンプラリー」を、図書委員会が「題名あてクイズ」を、環境委員会が「ありがとうの木」を、健康委員会が「スポーツイベント」などを行ったり予定していたりしています。これらの活動は全て、忌部小学校のみんなが、学校生活を「楽しく」「明るく」「元気に」「気持ちよく」「笑顔で」送れるように、みんながよりよい学校生活を送れるように願つて活動してくれたものです。これからも、4・5・6年生には、委員会活動をがんばってほしいと思いますが、残念ながら、この1年、委員会活動をリーダーとして引っ張ってくれた6年生は、あと1か月で卒業です。「忌部小学校の学校生活をよりよくしたい」という6年生の強い思いを5年生はもちろんですが、4年生、3年生、2年生、1年生もしっかりと引き継いでいると思います。



早口言葉スタンプラリー

## 新しい1年生と交流しよう

2月5日（木）には、来年度新入生の保護者説明会を行い、それに併せて、3年生が、来年度新入生との交流会を行いました。「新しい1年生が入学を楽しみにできるように楽しく交流しよう」というめあてをもって、計画や準備を進めてきました。当日も、受付からの教室までの案内、ゲームや遊びの説明など、新しい1年生の立場にたって、やさしくお世話をしながら会を運営することができました。3年生の新しい1年生への優しい思いがあふれる時間となりました。



案内の様子

## 忌部のこどもを育てる会



意見交換の様子

2月12日（木）には、今年度最後の授業公開日を行い、併せて、忌部のこどもを育てる会も開催しました。6名の地域や保護者の代表の方にお集まりいただき、各学年の授業の様子を観ていただき後、意見交換を行いました。意見交換では、今年度の学校評価をもとに活動や課題を振り返ったり、次年度に向けての貴重な意見をいただいたりすることができます。

忌部のこどもたちのよりよい育ちのために、学校と家庭と地域がそれぞれの役割を果たしながら連携していくことは不可欠なことです。その連携を深める大変良い機会となりました。今後ともよろしくお願ひします。

## ふるさと忌部の「ひと・もの・こと」から学ぶ

この1か月の間も多く家庭や地域の皆様のご支援を受けながら、ふるさと忌部をはじめ地域の「ひと・もの・こと」から学ぶ機会がたくさんありました。ありがとうございました。

### まつえ「子ども 夢☆未来」塾

1月23日（金）には、松江市教育委員会主催によるまつえ「子ども 夢☆未来」塾を6年生対象に行いました。昨年度に引き続き、中村茶舗の社長 中村寿男さんにお越しいただき、抹茶を通した仕事に関する知識や夢、思い、誇りなどを語っていただきました。こどもたちは、中村さんの話を通して、抹茶や抹茶に関わる仕事への関心を高めるとともにふるさと松江で仕事を行うことの意味を考えることもできました。

